

平成27年9月27日
今週のベストショット



奈多グラウンド ソルトベスターズ 対 奈多フェニックス戦
フェニックス二番福島悠選手(33)が楔(くさび)の役割を果たす3安打を放つ。

写真: レッドサンデーズ 八島久徳

雁レク7 両投手好投、守備の乱れが勝敗を分ける。

三友クラブ (6勝5敗) 000110 2 久岡●-谷崎、柿崎

新町ウインズ (9勝2敗) 00040× 4 藤田○-今林

HR: 松尾(三友ク) 2BH: 柿崎(三友ク) 盗塁: 泉(晴) 2、桐島、藤田、長岡(新町ウ)

序盤は、両投手の好投がみられテンポよく試合が進む。三回表二死から突如三連続四球と乱れる新町ウインズ藤田投手であったが、何とか無失点で凌ぐと、その裏両チーム通じて初ヒットをウインズ野中選手が放つ。ランナーが泉(晴)選手と入れ替わり、連続盗塁でチャンスを作るも三友クラブ久岡投手も踏ん張り、負けじと得点を与えない。四回表、三友クラブ谷崎選手の二塁打にエラーも絡み一三塁のチャンス。続く杉山選手のセカンドゴロは微妙な判定ながら併殺で二死三塁。ここで気が緩んだのか藤田投手のWPにて先制を許し均衡を破られる。しかし直後に反撃に出たウインズは、四球・ヒットで一三塁を作る。ここで久岡投手は踏ん張りを見せたい場面ではあったがWPにて同点とされてしまう。更に守備の乱れもあり再度一三塁の場面。ここで久岡投手が内野ゴロを打たせるも藤田選手の素早い判断による本塁突入にて逆転に成功。その後も内野手の悪送球などで4点を失う。五回表、喰らつきたい三友クラブは松尾選手の左中間への本塁打にて追いつがる。しかし好調な藤田投手を脅かすまでには至らなかった。大事な場面でミスが出た三友クラブ、手痛い敗戦となったが好投をみせた久岡投手には次回も期待したい。(記事、写真: 奈多クラブ 吉田貴史)



ウインズ藤田投手。



三友クラブ久岡投手。



好調な藤田投手。



好投した久岡投手。



連続盗塁を成功させたウインズ泉（晴）選手。



好走塁でのホームイン。



五回表、意地の一発を放った三友クラブ松尾選手。

青松園B 投打が噛み合いライナーズ快勝！

三苦フレンズ (3勝8敗) 0000 0 生野(拓) ●-佐藤

雁ノ巣ライナーズ (9勝2敗) 5045 14 鳥越○-明瀬(航)

HR: 鳥越(雁ノ巣) 2BH: 中口、宇野2(雁ノ巣) 盗塁: 吉村(雄)(三苦フ) 宇野、久保田(雁ノ巣)

三苦フレンズ対雁ノ巣ライナーズの試合は対照的な試合になった。ライナーズの先発、鳥越投手は初回到にフレンズ二番吉村(雄)選手の内野安打と盗塁で一死二塁のピンチを招くが後続を抑え0点に抑える。対するフレンズ先発、生野(拓)投手は制球が定まらず四球と二番明瀬(航)選手のバントヒットでピンチを招くとパスボールで1点を先制される。その後も押し出しの四球などで一挙5点を挙げられる。反撃に出たいフレンズは四球でランナーを出すも無得点に終わる。対するライナーズも二回は無得点に終わる。三回表フレンズはヒットと四球で二死満塁の大チャンスも作るも後続が三振に倒れ無得点。その裏、ライナーズはこの回先頭の七番鳥越選手のホームランで追加点を挙げるとその後三番中口選手、四番宇野選手と連続タイムリーが飛び出し一挙4点。四回裏にはまたしても宇野選手のタイムリーなどで5点を挙げ一気に突き放した。フレンズとしては先発した生野投手が合計12四死球と立ち上がりから制球に苦しんだことが痛かった。逆に言えば制球に苦しむピッチャーに対してストライクとボールの見極めをしっかりとすることで相手投手を助けなかったライナーズの攻撃は見事だったと思う。やはり打者一人一人が繋ぐ意識を持って打席に入ることが大切だと考え直させる試合になった。

(記事、写真: ブルーマーリンス 井手翔一郎)



見事完封勝利を挙げたライナーズ鳥越投手。



フレンズ先発生野(拓)投手。



三回表に見事なヒットを放ったフレンズ田中選手。



三回表、満塁のチャンスで粘りを見せるフレンズ生野(猛)選手。



三回裏、タイムリーを放ったライナース宇野選手。



四回裏、ヒットを放つライナース鳥越選手。



投打のヒーロー、宇野選手（左）と鳥越投手（右）。

青松園A ホーネッツ見事な逆転劇！

三苦ホーネッツ（9勝1敗1分）00213 6 矢野○ー広木

三苦三球会（6勝6敗）03001 4 吉留●ー藤沢

3BH：広木（三苦ホ） **2BH**：広木、矢野（三苦ホ） **盗塁**：船橋、塚（太）、大津（三球会）

好投手を擁する両チームの一戦。試合が動いたのは二回三苦三球会の攻撃。五番塚（太）選手のヒットと六番蓑原選手のエラーでの出塁で無死一二塁。その後三振と送りバントで二死二三塁とし、九番船橋選手の打球はセンター前に落ちるポテンヒット。二塁ランナーも生還し2点を先制。なおも盗塁と四球を絡め一三塁とし、二番濱口選手がライト前ヒットを放ち3点目。三球会が試合の主導権を握ったかと思っただが、優勝のためには負けられないホーネッツも三回に反撃開始！二死から二番永島選手のライト前ヒットと三番矢野選手のセーフティバントで一三塁とし、四番広木選手がセンターへ大飛球！三球会のセンター濱口選手がこれに追いつくも落球。これが三塁打となり2点を返す。なおも四回表、エラーで出塁したランナーをバントで送り、八番井手選手がきっちりセンター前ヒットを放ち同点とする。これで完全に流れに乗ったホーネッツ五回には一死から三番矢野選手と四番広木選手の連打から相手エラーや、七番三浦選手のヒットなどで一気に3点を追加し試合を決めた。三球会も塚（太）選手のヒットと相手のエラーで得点し、2点差に追いつくも五回裏終了時点でタイムアウト。試合終了となった。見事に逆転したホーネッツ。今日は優勝争いをしているチームの勢いを感じた試合だった。

（記事：奈多サンデーズ 田中孝幹、写真：田中俊弘）



三球会先発の吉留投手。



ホーネッツ先発の矢野投手。



三回裏、盗塁を決める三球会堺太一選手。



四回表、激走のホーネッツ有村選手。



五回裏、倒れながらも送球する三浦選手。



五回表、好守の三球会セカンド渡辺選手。



豪快なバッティングの三球会葺原選手。



豪快なバッティングのホーネッツ広木選



本日のヒーロー広木捕手（左）と矢野投手（右）。

奈多グラウンド 投手交代で接戦が一方的展開に。

ソルトベイスターズ（1勝10敗）00030 3 中村（耕）●、酒井一春田

奈多フェニックス（8勝1敗2分）200211x 15x 今林（勇）○ー実延（新）

HR：今林（勇）（奈多フ） 3BH：福島（奈多フ） 2BH：酒井（ソルト）

先攻のソルトベイスターズは初回、エラーと四球でチャンスを作るも無得点。その裏、フェニックスは先頭の西藤選手が四球、二番福島選手がバントヒット、一死二三塁として四番山村選手が中前2点適時打で先制。追いつきたいソルトは、四回表先頭の四番中村（耕）選手が中前打、一死から連続内野手エラーで満塁。八番中村（祐）選手の押し出しの後、九番真弓選手の中前適時打で同点。更に一番矢野選手も中前打で続くかに思われたが、フェニックス高原中堅守が一塁ランナーを二塁で捕殺。しかしこの間に3点目を取り逆転に成功。四回裏リードを許したフェニックスは、二死から一番西藤選手が四球、二番福島選手が左前打、続く三番今林（勇）選手の右前適時打で同点。二塁を狙った今林（勇）選手のタッチセーフでソルト酒井選手が塁審に異議を唱えている間に福島選手もホームインし、もったいない逆転許す。再逆転を狙うソルトは五回表、先頭の三番春田選手が左前打、一死から酒井選手の左越え二塁打で二三塁とするも、後続が打ち取られ無得点。迎えた五回裏、ソルトは中村（耕）投手から酒井投手へバトンタッチするが、これが大誤算。四球の先頭バッターを春田捕手の強肩で盗塁を阻止するも連続死球とWP、八番高原選手の犠飛で1点を奪われると、連続死球から二番福島選手の左越え三塁打、三番今林勇太選手の左中間HR。更にエラーと三連続四死球の後八番高原選手の左前打をエラーして打者走者までホームインするなど計11点を奪われたところでタイムアップ。結局3-15xでフェニックスの勝利。途中まで好ゲームだったので番狂わせを期待したが、ソルトは守備力を犠牲にしてまで好投していた中村投手から酒井投手への交代の意図と、一イニングに8四死球出した投手をそのままマウンドに立たせ続けるのは解せない試合だった。戦力的には5割付近にいてもおかしくないのに・・・。（記事、写真：レッドサンデーズ 八島久徳）



五回3失点で勝利したフェニックス今林勇太投手。



ピンチを凌ぎながら試合を作ったソルト中村（耕）投手。



初回、投ゴロを悪送球。フェニックス内野陣は失策が多かった。



一回裏、フェニックス二番福島選手のバントヒット。



フェニックス四番山村選手が先制2点適時打を放つ。



四回表、ソルト初ヒットの四番中村(耕)選手。



中前同点適時打を放ったソルト九番真弓選手。



続く矢野選手が逆転打を放つも一塁走者が二塁でアウト。



四回裏二死から同点打を放つ今林勇太選手。



五回裏、二番手でマウンドに上がるソルト酒井投手。



五回裏、盗塁の実延（彰）選手にタッチするソルト石井二塁手。



座ったままの送球で盗塁を刺すソルト春田捕手。



五回裏、2点適時三塁打を放ったフェニックス福島選手。



続いて、左中間に2ランを放った今林（勇）選手。

第21週編集後記

WSLの皆さん、こんにちは！

第21週、9月27日は4試合が行われました。

雁レク7の三友クラブ対新町ウインズ戦は、三回まで無得点で迎えた四回表、WPで1点を挙げた三友クラブだったが、その裏にWPで同点に追いつかれると、内野のミス等で4失点。五回表に三友クラブ三番松尾選手のHRで2点差とするも、ウインズが2-4で逃げ切った。

青松園Bの三苦フレンズ対雁ノ巣ライナーズ戦は、久しぶりに安定した投球を見せたライナーズ鳥越投手に対し、四死球を連発して自滅したフレンズ生野（拓）投手と明暗が分かれた。チーム打率.377とリーグNo. 1のライナーズは四死球に10安打を連ね、投げては鳥越投手が完封で、0-14で完勝。

青松園Aの三苦ホーネッツ対三苦三球会戦は、二回裏にヒットに相手エラー、犠打を絡めて効率的に3点を先制した三球会だったが、三回、四回で追いついたホーネッツは五回表、この試合三打数三安打の四番広木選手が3打点目のタイムリーで勝ち越し、食い下がる三球会を抑えて勝負を決めた。三球会も五番堺太一選手が三安打したが、四番打者の活躍が結果に出た試合となった。

奈多グラウンドのソルトベスターズ対奈多フェニックス戦は、優勝争いをするフェニックスが初回に幸先よく2点を先制するも、ソルトが四回表にヒットとエラーで満塁とすると、押し出しと九番真弓選手のタイムリー

に1点を加えて逆転。その裏、フェニックスは二死から四球と、連打に隙を突く走塁で再逆転。シーソーゲームの展開も、五回裏に投手交代でソルト酒井選手がマウンドに上がるも連続四死球に犠飛、フェニックス二番福島選手の三塁打と三番今林勇太選手のHRなどで一挙に11点を挙げ、ソルトを一蹴した。

残り2試合を残して、優勝争いはホーネッツ（勝ち点28）、ライナーズ・ウインズ（勝ち点27）、フェニックス（勝ち点26）の4チームに絞られました。

今シーズンから勝ち点は、勝3点、分1点、負0点なので引き分けはどちらかというとなりに近い形となっています。引き分けを狙うより、勝ちを狙いに行くアグレッシブな展開が期待できますね。